

平成29年度

木祖村教育委員会点検評価報告書

木祖村教育委員会

(7-1)

平成29年度 木祖村教育委員会点検評価報告書

1	教育委員会関係	3
	(1)教育委員会の開催	3
	(2)教育委員関係会議・研修等	3
	(3)平成29年度教育委員会開催経過及び協議事項等	4
	(4)平成29年度教育委員会関係事業・会議・研修等	5
2	学校教育関係	7
	(1)学級編成、児童生徒の状況	7
	(2)通学対策	8
	(3)就学援助費	8
	(4)学校給食	8
	(5)教員住宅	8
3	社会教育、公民館関係	9
	(1)社会教育・公民館関係の会議、行事一覧	9
	(2)公民館学級講座実績	9
	(3)学校教育との連携	10
	(4)青少年健全育成関係	11
	(5)読書活動推進関係	11
	(6)芸術文化関係	11
	(7)成人式関係	11
4	社会体育関係	12
	(1)社会体育関係会議等	12
	○体育協会	12
	○村内一周駅伝大会	13
	○社会体育施設使用調整会議	13
	(2)スポーツ団体等	13
	○体育協会(13種目)	13
	○体育協会以外のスポーツ団体	13
	○ジュニアスポーツ団体	13
	(3)社会体育施設利用状況	13
	○木祖村運動場	13
	○木祖村テニスコート	13
	○社会体育館	13
	○学校開放施設	14
	(4)スポーツ大会・教室等	14
	○村民体育祭	14
	○村民登山	14
5	文化財保護事業関係	14
	(1)文化財保護審議会	14
	(2)文化財保護研修会への参加	14
	(3)木祖村郷土館	14
6	放課後児童クラブ事業関係	15
	○平成29年度放課後児童クラブ利用状況	16
7	主要建設工事等	17
	(1)施設整備・管理・修繕・備品購入	17
8	教育委員会関係委員名簿	18
9	公民館・社会教育・社会体育関係事業一覧	19
	○平成29年度 教育委員会・公民館学級講座(社会教育)	19
	○平成29年度 教育委員会・公民館学級講座(社会体育)	20
	○平成29年度 教育委員会・公民館学級講座(すくすく倶楽部)	21

1 教育委員会関係

(現状と評価)

教育委員会は、平成27年4月1日に施行となった「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、平成28年3月31日に任期が満了となった教育長に代わり、首長が任命した新制度による新しい教育長を迎えて、2年目の教育委員会として発足をした。教育長職務代理者が平成29年9月30日の任期退任をもって改選され、後任に現任教育委員を職務代理者に任命し、新教育委員1名を迎えて、新たな体制への改変があった年となった。

木祖村教育委員会では、平成29年度において、11回の定例会議と2回の臨時会を開催し、必要事項を審議、決定した。定例会では小学校、中学校へ各2回の授業参観及び給食試食を行い、学校内における児童生徒の様子や教職員の様子を実際に見ることを大切にしてきた。また、住民福祉課、保育園、小中学校及び放課後児童クラブと連携した就学支援体制への参加なども視野に入れながら新たな取組を行ってきている。ことに就学相談アドバイザーを設置し保育園と小学校の連携及び情報共有や、保護者への支援体制が強化された。信州型コミュニティスクールを中心にした学校への支援体制も大きく進展した。民生児童委員協議会と連携しての月1回のあいさつ運動も定着した。その他、各種の研修会等への出席、成人式など教育委員会の主催事業や村の行事にも積極的に参加をしてきた。

(課題)

教育委員会は、教育行政の基本的な方針や委員会の規則や規程の制定、学校その他教育機関の設置や廃止、教育機関の職員の任免、事務事業の評価等は、委員会自らが執行管理することとなっている。

しかし、一方では、各地でのいじめや体罰事案、教職員の非違行為が続く中で、教育委員会のあり方が課題とされている。人事権、予算編成・執行権、条例制定権などは首長部局にあり、また教員人事などについても県教育委員会が行うなどの実態の中で、市町村教育委員会の責任や権限が見えないといったあり方が問われることとなっている。

また、平成28年4月1日から新しい法律の下で、村長が総合教育会議を設置し、教育に対する大綱を策定する中で、新たな教育委員会制度がスタートした。今後どのような体制の構築が良いのか、教育行政とどのように関わり合っていくのが良いのか、県や他の市町村の取組や動向を参考にしながら、木祖村教育委員会のあり方について様々な方向から検討を進めていく必要がある。

(1)教育委員会の開催

定例教育委員会を年11回 臨時教育委員会を2回開催

(2)教育委員関係会議・研修等

市町村と県教育委員会との連絡会議 8回

市町村と県教育委員会との懇談会 1回

関東甲信越静市町村教育委員会連絡協議会総会

平成29年5月26日 神奈川県大和市で開催

木曾郡町村教育委員会連絡協議会総会

平成29年6月9日 木曾町文化交流センターで開催

長野県市町村教育委員会連絡協議会研修会

平成29年10月27日 東御市で開催

委員による小・中学校訪問

小学校 7月25日(火) 11月21日(火)

中学校 6月20日(火) 12月21日(木)

学力向上に関わる県教育委員会との懇談(教育長)

平成29年10月17日(火) 県教育委員会より3名 木祖村役場で

木曾郡教育課程研究協議会 中学校数学会場

平成29年10月11日(水) 教育長参加

(3) 平成29年度教育委員会開催経過及び協議事項等

会 合	期 日	会 議 事 項
4月臨時	平成29年4月5日	・人事異動による平成29年度小中学校新任職員を確認 ・平成29年度事業について
4月定例	4月21日	・木祖村社会教育委員の委嘱について ・木祖村公民館運営審議会委員の委嘱について ・木祖村文化財保護審議会委員の委嘱について ・木祖村立小中学校学校評議員の委嘱について ・小中学校職員教育委員会合同研修会について
5月定例	5月22日	・奨学金貸与について ・要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金申請について ・木祖村いじめ防止等の基本方針について ・平成29年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会について ・郡町村教委定例総会について
6月定例	6月20日	・要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金申請について ・信州型コミュニティスクール推進状況について ・小学校道徳教科書の選定について ・教職員時間外勤務について ・木祖村第5次総合計画策定委員について ・中学校現況報告
7月定例	7月25日	・小学校現況報告 ・要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金申請について ・道徳教科書の選定状況について ・非違行為防止研修の取組について ・給食調理室改善工事について ・県町村教育長会木曾大会報告 ・成人式について
8月定例	8月31日	・全国学力状況調査結果について ・平成28年度木祖村教育委員会点検評価報告書について ・平成29年度 長野県市町村教育委員会研修総会(10/27)について ・県教育委員会原山隆一教育長による学校訪問報告 ・学びの改革に係る地域懇談会報告 ・教育委員(1名)の改選について ・学校施設工事について
9月定例	9月27日	・教育表彰関係の推薦応募について ・緊急時の避難対応について ・中3生自主学習見守り協力員について ・平成29年度長野県市町村教育委員会研修総会(10/27)について ・郡陸上競技大会結果報告 ・小中PTA合同研修会について
10月定例	10月20日	・教育七団体による要望書について ・全国学力状況調査結果分析懇談会報告 ・木曾郡音楽会参加について ・小中PTA合同研修会(11/25)について ・副学籍制度の導入について ・中3生自主学習見守り協力員について ・小中PTA合同研修会について
11月定例	11月21日	・小学校現況報告 ・県市町村教育委員会研修総会東御市大会振り返り ・中3自主学習の状況について ・小中PTA合同研修会について
12月定例	12月21日	・中学校現況報告 ・木祖村総合教育会議(1/19)の持ち方について ・中3平和学習報告 ・教育委員についての確認事項
1月定例 (木祖村総合教育会議)	平成30年1月19日	・木祖村総合教育大綱について ①学校教育 ②社会教育・社会体育 ③文化財 ④予算付け関係 ・県立高校「学びの改革」に係る第2回地域懇談会報告 ・要保護・準要保護の認定について
2月定例	2月23日	・学校評議員会(CS運営委員会)報告 ・小学校・中学校卒業式について ・平成30年度小中学校入学式について ・副学籍による特別支援教育について ・H30年度予算概要 ・当面する事業・行事について
3月臨時	3月15日	・小中学校職員人事異動について ・転退教職員送別会について

(4)平成29年度教育委員会関係事業・会議・研修等

月 日	会 議 ・ 行 事	出 席 範 囲					
		委員会	職務代理	教育長	事務局	小中学校	
H29 4月	2日(日)	消防団任命式			○	○	○
	3日(月)	村年度初めの式(職員辞令交付)			○		
	3日(月)	中学校新任校長辞令伝達式			○	○	中校長
	5日(火)	臨時教育委員会	○	○	○	○	
	5日(火)	木祖小・中学校入学式	○	○	○	○	○
	6日(木)	とちのみ保育園入園式			○		小校長
	7日(金)	あいさつ運動			○		
	13日(木)	公民館分館長主事会議			○	○	
	17日(月)	体育協会代議員会			○	○	
	21日(金)	4月定例教育委員会	○	○	○	○	
	21日(金)	小中学校PTA総会・新任教職員歓迎会	○	○	○	○	○
	22日(土)	すくすくスクール開校式			○	○	
	25日(火)	教委連絡会(松本市Mウイング)		○	○		
5月	1日(月)	子育て支援会議			○	○	
	2日(火)	小中学校職員教委合同研修会	○	○	○	○	○
	9日(火)	ソフトボールリーグ開会式			○		
	11日(木)	あいさつ運動			○		
	17日(水)	中学校民生児童委員との懇談会			○		中校長
	17日(水)	地域図書館運営委員会			○	○	
	22日(月)	定例教育委員会	○	○	○	○	
	26日(金)	関東甲信越静市町村教委研修総会(大和市)	○	○	○	○	
	29日(月)	市町村教委コミュニティスクール担当者会			○	○	
	30日(月)	町村教委連絡会		○	○		
31日(水)	小学校民生児童委員との懇談会			○		小校長	
6月	1日(木)	青少年健全育成協議会総会			○	○	○
	5日(月)	文化財保護審議会			○	○	
	6日(火)	消防ポンプ操法結団式			○		
	9日(金)	郡町村教委連研修総会(木曽町)	○	○	○	○	
	13日(火)	あいさつ運動			○		
	15日(木)	教科書採択研究協議会			○		
	20日(火)	定例教育委員会	○	○	○	○	中校長
	28日(水)	学校評議員会			○		○
	29日(木)	村総合計画策定会議	○		○	○	
7月	5日(水)	小学校音楽会	○	○	○		○
	6日(木)	県町村教育長研修総会(木曽町)～7日			○		
	11日(火)	あいさつ運動			○		
	13日(木)	給食センター改修工事打合せ			○	○	
	21日(金)	教科書採択研究協議会			○		
	25日(火)	定例教育委員会	○	○	○	○	小校長
	29日(土)	源流夏まつり			○	○	○
	30日(日)	郡総合体育大会(陸上)			○	○	
	31日(月)	市町村教委と県教委との連絡会(松本合庁)		○	○		
8月	2日(水)	村総合計画策定会議	○		○	○	
	3日(木)	社会教育・公民館運営審議合合同委員会			○	○	中校長
	14日(月)	成人式	○	○	○	○	○
	18日(金)	県教育委員会原山隆一教育長懇談会			○		○
	21日(月)	要保護児童対策地域協議会			○	○	○
	24日(木)	あいさつ運動			○		
	27日(日)	総合防災訓練			○	○	
	29日(火)	町村教委連絡会		○	○		
	31日(木)	定例委員会	○	○	○	○	
9月	7日(木)	中学校郡陸上競技大会			○		中校長

	11日(月)	あいさつ運動				○		
	12日(火)	中信教育事務所主幹指導主事学校訪問						○
	15日(金)	日曜画家展審査会				○		
	16日(土)	とちのみ保育園運動会	○	○	○			小校長
	23日(土)	小学校運動会	○	○	○			○
	27日(水)	定例教育委員会	○	○	○	○		
	29日(金)	おおとり祭(~30日)	○	○	○			○
	29日(金)	ソフトボールリーグ閉会式				○		
10月	2日(月)	川口教育委員任命式	○			○		
	4日(水)	町村教委連絡会			○	○		
	7日(土)	日曜画家展表彰式				○		
	11日(水)	郡教育課程研究協議会 中学校数学				○		中校長
	12日(木)	あいさつ運動				○		
	17日(火)	学力状況調査結果分析対策会議				○		○
	20日(金)	定例教育委員会 小学校マラソン記録会(中止)	○	○	○	○		
	20日(金)	村総合計画策定会議	○			○	○	
	25日(水)	木曾郡音楽会				○		○
	27日(金)	県市町村教育委員研修総会(東御市)	○	○	○			
	28日(土)	公民館文化祭展示会(~29日)					○	
11月	3日(金)	駅伝大会 芸能祭				○	○	
	8日(水)	来入児就学時健診				○	○	小校長
	12日(日)	郡公民館大会(木祖村)				○	○	
	13日(月)	あいさつ運動				○		
	13日(月)	町村教委連絡会			○	○		
	21日(火)	定例教育委員会	○	○	○	○		小校長
12月	1日(金)	小中PTA合同研修会	○	○	○	○	○	○
	4日(月)	スキー場安全祈願祭				○		○
	7日(木)	村総合計画策定会議	○			○	○	
	11日(月)	あいさつ運動				○		
	20日(水)	卒業写真撮影				○		○
	21日(木)	定例教育委員会	○	○	○	○		中校長
	22日(金)	安全対策会議				○	○	○
H30 1月	6日(土)	消防団出初め式				○	○	○
	11日(水)	あいさつ運動				○		
	16日(火)	町村教委連絡会			○	○		
	19日(金)	総合教育会議 定例教育委員会	○	○	○	○	○	○
	29日(月)	村総合計画策定会議	○			○	○	
	30日(火)	町村教委連絡会			○	○		
2月	7日(水)	要保護児童対策地域協議会				○	○	○
	13日(火)	あいさつ運動				○		
	20日(火)	コミュニティスクール担当者会				○	○	
	20日(火)	文化財保護審議会					○	
	21日(水)	学校評議員会				○		○
	23日(金)	定例教育委員会	○	○	○	○		
	23日(金)	村総合計画策定会議	○			○	○	
	24日(土)	すくすくスクール閉校式					○	
	27日(月)	公民館運営審議会				○	○	中校長
3月	1日(木)	要保護児童対策地域協議会				○	○	○
	5日(月)	町村教委連絡会			○	○		
	9日(金)	あいさつ運動				○		
	15日(木)	臨時教育委員会	○	○	○	○		
	15日(木)	中学校卒業式	○	○	○			○
	17日(土)	小学校卒業式	○	○	○			○
	23日(金)	とちのみ保育園卒園式				○		小校長
	23日(金)	給食センター運営委員会				○		小校長
	23日(金)	転退職教職員送別会	○	○	○	○	○	○

2 学校教育関係

(現状と評価)

学校の基本目標小学校は「子どもが喜んで登校できる学校づくりのために」を、中学校は「生命を大切にし、自ら伸びようとする生徒」を、それぞれ学校の教育目標として運営をしてきた。また、地域と共にある学校を見据えたコミュニティスクール組織との連携も継続的に進め、学校評議員会をコミュニティスクール運営委員会と合同で行い、公民館長をコーディネータに位置づけて活動に取り組んだ。小学校は目指す子どもの姿を「明るくのびのびとした子ども」、中学校は「生命を大切にし、自ら伸びようとする生徒」をスローガンに、ふるさと木祖村を愛し、生きる力を身につけさせることを重点に、小・中学校それぞれに個性ある学校運営計画を作成し、児童・生徒の教育活動の実践を積み重ねてきた。

(学校評価への取組)

学校評価への取組として、3つの評価を大切にしている。一つは、学校が児童生徒の学習状況や教育課程の実施状況等に関して行う教師自身による自己点検・自己評価である。二つ目は学校生活全般について子ども達自身が行う授業評価と生活評価である。そして三つ目が、学校の教育活動全体について保護者が行う保護者評価である。この3評価の結果から、その成果や課題を明らかにしながら、学校運営や教育活動の改善を進めるために評価の考察と合わせて、保護者や地域社会に、小学校は「小学校だより」、中学校は「おおとり」で公表し、保護者には校長講話によって丁寧に説明もし、村民には、隣組回覧を利用して地域に公表している。学校評議員会を2回開催し、学校評価の結果や体力テストの結果等を説明し、意見交換の場も設定している。

(課題)

児童生徒数が減少する中、平成16年度より、小中学校全学年単級になって久しい。保育園から中学卒業まで同じ構成のまま子ども達の学校生活が続くこととなり、固定化されやすい人間関係の中で、競争心、向上心の衰退にならないように指導を心がけることが重要になっている。小中学校とも「木祖っ子クラブ」や「おおとりの時間」など、学年を超えた縦割り学習活動を積極的に取り入れたカリキュラムを位置づけ、一定の成果を上げている。小学校では32年度から完全実施される英語の教科化に伴い、木祖っ子クラブ等の時間確保へのしわ寄せが懸念される。限られた時間数の中で、将来的な展望に立ちカリキュラム編成を考えて行くことが必要である。28年度末中学校卒業生は20名、29年度小学校入学生は25人で、児童生徒数は、前年より5人の増となったが、今後は徐々に減少へと推移するようになる。生徒数が減少することで危惧される学校運営、児童会や生徒会活動、部活動、PTA組織等、現行どおりとは行かない状況での対策が課題である。

28年度には認められなかった長期欠席であったが、29年度後半より、学校への不適応傾向を有した児童・生徒が認められている。発達障害を抱える児童が目立っている現状とも合わせて、子ども達一人ひとりに寄り添った支援体制を構築していくことも課題となってきた。

(1) 学級編成、児童生徒の状況

本村児童生徒数も社会全体の少子化の進行により年々減少傾向であるが、小学校児童数は昨年に比べ8名の増となった。学級数は小学校は各学年1クラスの6学級と特別支援学級2クラスの8学級で児童数は141名、中学校は各学年1クラスと特別支援学級1クラスの4学級で生徒数は56名となった。

平成29年度 木祖小学校・木祖中学校 児童生徒数

木祖小学校					木祖中学校			
学年	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計
1学年	1	9	15	24	1	9	11	20
2学年	1	9	10	19	1	11	10	21
3学年	1	8	12	20	1	7	7	14
4学年	1	9	11	20				
5学年	1	13	12	25				
6学年	1	11	14	25				
特別支援	2	7	1	8	1	1	0	1
合計	8	66	75	141	4	28	28	56

小・中学生児童・生徒数の推移と見込										
区分	平成	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	学年	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
小学校	1	19	25	20	19	18	17	24	6	19
	2	21	19	25	20	19	18	17	24	6
	3	22	21	19	25	20	19	18	17	24
	4	25	22	21	19	25	20	19	18	17
	5	26	28	22	21	19	25	20	19	18
	6	20	26	28	22	21	19	25	20	19
	小計	133	141	135	126	122	118	123	104	103
	比率	94.3	100	95.7	89.4	86.5	83.7	87.2	73.8	73.0
中学校	1	21	20	25	28	22	21	19	25	20
	2	15	21	20	25	28	22	21	19	25
	3	20	15	21	20	25	28	22	21	19
	小計	56	56	66	73	75	71	62	65	64
	比率	100.0	100	117.9	130.4	133.9	126.8	110.7	116.1	114.3
小中学校 総合計	189	197	201	199	197	189	185	169	167	
全体比率	95.9	100.0	102.0	101.0	100.0	95.9	93.9	85.8	84.8	

※1)小学校は30年度まで130名を維持するもH29年度の141名を頂点に減少傾向となる。平成28年度生まれが6人と極端に減少することから以降100人を切る状況も考えられる。

2)中学校は、29年度までは60名を割るが、H30年度、H31年度は1年生がそれぞれ25名、29名と多く、H32年度は76名と近年では最も多い人数となる。以降は順次減少傾向となるが29年度と比較してもH35年度までは100%を超える生徒数での推移となる。

3)小・中学校合計では、H33年度までは190名を超え、対H28年度比でも100%を超えている。その後は減少傾向となり、原因は定かでないが平成28年度出生で平成35年度小学校入学の児童が極端に少ない。平成29年度出生者は例年並みに回復しているが、今後の推移を注視する必要がある。

(2) 通学対策

木曽・菅地区の児童生徒のスクールバスによる通学を援助するため、スクールバスの運行委託費用として小学校 8,521千円、中学校 5,681千円を支出した。また、スクールバスの運行経路が確保できない児童について、「たんぼぼ号」で通学の足の確保を行っている。

(3) 就学援助費

準要保護児童・生徒世帯に合計390千円を扶助した。

(4) 学校給食

木祖村学校給食センターで小・中学校児童・生徒・教職員に対し、栄養士1名、調理員4名体制で、小学校199日、中学校198日の給食を供給した。

児童・生徒のより一層の安全安心確保の観点から、給食食材について、村独自の隔月による放射能検査のほか県安全安心のための学校給食環境整備事業（食材事前検査）を実施した。また、検査の結果を村ホームページに公表している。地産地消事業として、生産者グループ「愛菜」と連携し、地元産野菜を給食食材に提供している。

また、木祖村産の米を全体量の2分の1について、公費購入している。

(5) 教員住宅

平成30年3月現在、21戸の教員住宅が教育委員会の管理となっている。このうち、教職員7名、一般7名の入居があり、2,570千円の貸付け収入があった。

3 社会教育、公民館関係

(現状と評価)

教育委員会と公民館が連携を保って生涯学習を進めるために様々な学級や講座を行ってきた。大人の学級では、世代間のふれあい交流や、健康や生きがいにつながる物づくり体験、郡内遠足（南木曾町）、県内遠足諏訪市）を実施した。また、新たに英会話講座を行い、若い男性や女性の参加者も増加した。

文化祭展示会は各分館を中心に行い、各会場を回るシャトルバスの運行などにより、来場者は増加している。

芸能祭は出演団体が9団体となり参加団体数は減少したが、複数の団体が集まった劇の発表などが行われ、楽しんでいただくことができた。

源流図書館は開設9年目を迎えた。図書館利用者カードの発行数は徐々に増加しているが、H29年度は貸出冊数については、前年度比10%の減となり、来館者数は9%減となった。

(課題)

教育委員会や公民館で行う事業については参加者はやや固定化している傾向にある。様々なサークル活動が活発に行われ、新たに設立され活動を行っているサークルもある。村民センターや転作研修センターなどの公共施設を使用しての定期的な活動をしている団体が多くなり、曜日ごとに使用団体を調整したりしている。

本館、分館どちらにしても開設学級や講座に参加者が少なくなる傾向が見え、合同での開催を考えたり、よりニーズに適った興味を持てる学級や講座を開設する必要がある。特に男性の参加者が少ない傾向がうかがえる。

文化祭展示会は各分館ともに出展者の減少が課題となっている。学校文化祭でのPTA作品の展示や、各分館でも「切り絵教室」などの開催に合わせて作品の出展を行うなどの企画を進めた。

9年目を迎える源流図書館の存在については村民への周知は図られるようになってはいるが、利用者数をさらに増加させることが課題である。図書館だよりの発行や来館者へのアンケート調査、学校参観の機会などに学校やPTA役員からも利用について連絡などを行っている。今後は急激な増加を期待するのではなく、現在の利用者の満足度を向上させながら、増加につなげていく取組を考えていきたい。

(1) 社会教育・公民館関係の会議、行事一覧

今年度も社会教育委員、公民館分館運営委員を中心に各種研修会への参加や交流会を通じて各委員の資質の向上に努めた。また公民館主催行事への運営に協力をいただいた。

平成29年度 社会教育・公民館関係の会議・事業一覧

月日	会議・事業名	開催場所	参加者数
4月13日	公民館運営審議委員・分館長主事合同会議	村民センター	23名
5月26日	中信地区社会教育委員連絡協議会総会・研修会	県総合教育センター	2名
8月3日	社会教育委員・公民館運営審議委員合同臨時会議	村民センター	11名
8月14日	木祖村成人式	村民センター	対象34名
10月28日	第44回木祖村文化祭展示会(～29日)	村内6会場	延1,500人超
11月3日	第44回木祖村芸能祭	小木曾老人福祉センター	9団体
11月12日	第56回木曾郡公民館大会	木祖村	29名
平成30年3月13日	社会教育委員・公民館運営審議委員合同会議	村民センター	9名

(2) 公民館学級講座実績

年度当初策定した社会教育計画に基づき、「だれでも、いつでも、どこでも、どんなことでも」参加できる、学習できる、集まれる、ふれあえる、といった環境づくりに努めた。

実績詳細はP19公民館学級講座開設台帳参照

(3)木祖村型コミュニティスクール

社会教育と学校教育との連携という視点から、コミュニティスクールを正式に立ち上げて活動した初年となった。コミュニティスクールの導入については、国、県からの要請に対応して学校運営協議会の設定を求められる正式な取組という面もあるが、木祖村では、中学校で代表される総合的な学習の時間を利用した「おとりの時間」や、小学校社会見学や遠足への付き添いボランティアの同行、花咲く村づくりの会が参画しての学校花壇の造園活動等に代表されるように、制度導入以前からごく普通の教育活動として行われている経緯もあり、大きな教育成果を上げてきたという評価も得ていた。したがって、新制度に新体制で臨むということではなく、これまでに大事にしてきた学校の教育活動に地域の教育力を生かすという大前提を踏まえながら、制度として必要な部分は整備しながら、より教育効果が高まることを願って、取り組みを進めてきた。まず、実施事業の内容と評価を検討、検証する機会として学校評議員会に合わせてコミュニティスクール運営会を年2回実施するように制度化をした。次に、学校とコミュニティスクール事務局を結びつけるパイプ役としてのコーディネーターを公民館長とし、学校からの要求に応じて、支援ボランティアを学校に派遣する役割を担えるように位置づけた。

1) 小学校での主な事業

	実施事業名	事業内容	実施日
①	花咲く村づくりの会と取り組む造園活動	村内で伝統的に行われている花咲く村づくりの会会員の指導を受けながら、学校花壇造園に取り組む	通年
②	社会見学 遠足付き添いボランティア	各学年行事へ同行しながら、史跡にまつわる説明や、支援をするボランティア活動	通年
③	農業体験	休閒栽培ハウスを利用したユリ栽培 事業者及びJA職員の指導を受けて活動	5～9月
④	家庭科学習ボランティア	調理実習、裁縫についての指導、支援見守	通年
⑤	朗読ボランティア	学校からの要請を受けて子ども達への絵本の読み聞かせ	通年

2) 中学校での主な事業

	実施事業名	事業内容	実施日
①	おとりの時間への指導参加	村の伝統である「お六櫛」制作、「藪原祭り」への伝統伝承を目的に縦割り班編制の中学生への指導。社会福祉協議会の支援をいただいた際の交流活動	5～9月
②	職場体験地域学習	職場体験を村内事業所で実施することを通して、地元の産業を理解し、キャリア教育推進の一助とする取組。受け入れをしていただいた20事業所。体験者37名(村外含め)	夏休み中 2日間
		・マルオカ工業 ・湯川酒造 ・まると食品 ・味噌川ダム管理所 ・こだまの森奥木曾グリーンリゾート ・きそむら道の駅 ・とちのみ保育園 ・特別養護老人ホームサニーヒルきそ ・デイサービスセンターそほく ・花きユリ栽培 ・御嶽はくさい栽培 ・JA木曾畜産支援センター ・木曾藪原石油販売小木曾給油所 ・放課後児童クラブ ・焼肉権兵衛 ・そば店志めと ・やぶはら高原山の家 ・笑ん館 ・角田ナーセリー ・日野製菓(王滝)	
③	戦争体験者と語る平和学習	中3生と「語り継ぐ戦争の恐怖」(冊子)を読み合わせ。戦争体験を聞きながらの意見交	12月
④	パソコンタブレットを使った自主学習	中3生の進路実現に向けた自主学習の場を、土曜日に学校を開放して行い、それに伴う見守り支援。タブレット版を用いて可能な自学自習を中心に実施。 ・中3生15人中13人が参加。その内10回以上の参加者8名。 かかわった見守りボランティア10名。	11月～3月 14回実施

(4) 青少年健全育成関係

7月の啓発活動は社会を明るくする運動と合同で行い、JR利用者を中心に啓発活動を実施した。

(H29青少協)

月日	会議・事業名	開催場所	参加者数
6月1日	青少年育成連絡協議会総会	役場	32名
7月3日	強調月間啓発活動社会を明るくする運動	藪原駅	12名
11月22日	環境点検村内巡回	村内一円	1名

(5) 読書活動推進関係

平成21年度開館した地域図書館を中心に、児童生徒をはじめ村民にも読書活動が高まるよう、図書のみならず生涯学習情報の場として充実を図っている。本年度は小学生保護者を中心にアンケート調査を行ったことから、今後の活用を図っていききたい。

運営状況：平日午後1時～6時開館 土日午前9時～午後5時開館、月曜定休日

平成29年度開館日数：291日 新規利用登録者数：10名 計380名

利用冊数：一般1,688冊＋中学生 36冊

図書館協力員（有償ボランティア）10名程が半日を単位に交代勤務している。

	源流図書館貸出冊数					源流図書館来館者数					
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
4月	150	138	115	179	582	4月	48	51	45	54	99
5月	141	127	119	157	544	5月	53	40	54	66	120
6月	139	149	151	160	599	6月	56	60	58	57	115
7月	131	140	154	162	587	7月	49	48	72	51	123
8月	142	148	144	167	601	8月	52	58	70	51	121
9月	143	135	137	173	588	9月	47	41	58	60	118
10月	137	129	183	178	627	10月	59	53	73	60	133
11月	148	122	155	190	615	11月	52	59	55	66	121
12月	145	130	172	173	620	12月	46	41	57	58	115
1月	125	123	191	160	599	1月	55	44	63	54	117
2月	120	121	153	120	514	2月	63	56	71	60	131
3月	56	48	67	96	267	3月	40	31	32	31	63
合計	1577	1510	1741	1915	6743	合計	620	582	708	668	1376

(6) 芸術文化関係

木祖村文化祭展示会と芸能祭は第44回を迎えた。展示会は10月28～29日 村内6会場で、芸能祭は11月3日に小木曾老人福祉センターで開催した。展示会、芸能祭とも、日ごろの公民館活動やサークル活動の発表の場としての定着をしてきた。

展示会は出品作品が減少傾向にある中、小中学生や小中学校PTAの出展協力、陶芸教室などの各講座での作品展示、各分館で行った切り絵教室などの企画による作品展示を実施できた。

芸能祭は、出演団体数が減少傾向にあり、平成29年度は9団体の参加となった。高齢者の観覧に配慮し、椅子席を増設した。

木曾文化公園自主事業企画実行委員会への運営協力。

各種サークル活動の支援(マナビー通信による情報提供)

(7) 成人式関係

成人式は8月14日村民センターにて開催

対象者 平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれ 34名

【当日出席者】

成人者 31名 来賓 24名 恩師 5名 主催者 7名 合計 67名

4 社会体育関係

(現状と評価)

源流スポーツ大学は、「シェイプアップ教室」、「ヨガ教室」、「エアロビ教室」等を行っている。人気のある講座への参加者は微増をしている一方で、参加者が固定化している状況にある。

一方で、小学生を対象とした「すくすく倶楽部」には、学校児童の70%を超える子どもが登録している。子どもの数が減る中で地域で遊ぶ機会が減ってきていることが背景にあると思われる。

村内一周駅伝大会は参加チーム数は、5区間 26チーム、10区間 4チームとなった。藪原地区の自治会から選手が集められないといった声があり、平成25年度からは 5区から7区までが藪原下町チームとして参加した。

平成27年度から村民登山を企画し、29年度は「乗鞍岳」登山を実施し村民19名が参加をした。

(課題)

源流スポーツ大学の参加者数の少ない講座については、どの段階で見直しをするかの見極めが難しい状態である。平成24年度以降参加人数もやや増加の傾向にあるが、少ない人数であってもほとんど毎回参加している人がいる実態であることから、すぐに廃止や見直しといったことができないのが現状である。

村民の趣味の多様化により、スポーツ団体が増え、個々の団体の構成員が減っていく傾向がある。特に少子化、高齢化の進む中で少年部門の団体が減少し、維持が困難な状況も生じてきている。老若男女誰でも楽しめるスポーツ「ニュースポーツ」も試験的に実施したが、今後も検討していく。

村内一周駅伝大会については、藪原地区の自治会のように選手が集められないといった傾向があり、今後、合同チームでの参加などへ移行する可能性もある。一方で、村外者による団体の参加も数チームある。

(1)社会体育関係会議等

今年度も、体育協会については年間計画に沿って役員会等を開催し、その都度各部へ報告や依頼をした。また、郡総体関係についても積極的な参加を依頼し、反省事項等は郡の会議へも報告をした。

○体育協会

平成29年度 体躯協会関係会議・事業

月日	会議・事業名	開催場所
4月17日	村体育協会代議員会	役場2F大会議室
5月13日	木曾郡体育協会定期総会	上松町
7月30日	木曾郡総合体育大会開会式	大桑村
9月1日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
10月24日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
3月15日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
3月24日	木曾郡総合体育大会冬季スキー大会	王滝村

○村内一周駅伝大会

第59回となった村内一周駅伝大会は、11月3日に行われ、参加チーム数も、5区間26チーム、10区間4チームとなり、盛大に開催することができた。

第59回(H29年度)木曾川源流村内一周駅伝大会 参加チーム等

出場チーム		登録者数	役員等	人数
5区間の部	26チーム	130名	大会役員	16名
10区間の部	4チーム	40名	競技役員	110名
補欠登録者		29名	交通安全協会	50名
計		199名		177名
			総合計	376名

第59回(H29年度)木曾川源流村内一周駅伝大会 関係会議

月 日	会議・事業名	開催場所
9月22日	駅伝大会打合せ会議	役場2F大会議室
10月24日	駅伝大会競技役員打合せ会議	役場2F大会議室
10月26日	駅伝大会最終監督会議	役場2F大会議室
11月3日	第59回村内一周駅伝大会	村内コース
11月20日	駅伝大会反省会	役場2F大会議室

○社会体育施設使用調整会議

平成29年度 社会体育施設使用調整会議

月 日	会議・事業名	開催場所
7月12日	使用調整会議(8~11月)	役場2F大会議室
11月20日	使用調整会議(12~H30.3月)	役場2F大会議室
3月15日	使用調整会議(H30.4~7月)	役場2F大会議室

(2)スポーツ団体等

スポーツ団体は体協を中心に22団体が活動をしている。活動は各団体でそれぞれ行なっており、教育委員会として相談や依頼を受け対応をしている。

○体育協会(11種目)

スキー部 野球部 剣道部 ソフトテニス部 射撃部 弓道部 ソフトボール部 バドミントン部
ゴルフ部 卓球部 マレットゴルフ部

○体育協会以外のスポーツ団体

ソフトバレー愛好会 軽スポーツ同好会 バasketボールサークル フットサルクラブ
男子バレーボール

○ジュニアスポーツ団体

学童野球 少年野球 ジュニアスキークラブ ジュニア卓球クラブ 少年剣道部
ジュニアフットサルクラブ

(3)社会体育施設利用状況

○木祖村運動場

定期利用 体協野球部 体協ソフトボール部 学童野球 少年野球

○木祖村テニスコート

定期利用 体協ソフトテニス部

○社会体育館・弓道場

定期利用 体育協会(剣道部・弓道部・バドミントン部・卓球部)

体協以外(ソフトバレー愛好会・源流スポーツ大学・Basketボールサークル・男子バレーボール)
ジュニア(ジュニア卓球クラブ・少年剣道部・ジュニアフットサルクラブ)

雨天時のみ(学童野球・少年野球)

冬期間のみ(体協野球部・体協ソフトボール部・体協ソフトテニス部・学童野球・少年野球)

その他 合宿等

※夏場は合宿等の利用が多く、村内スポーツ団体等のご理解をいただき、受け入れを行っている。今後の利用方法や村外予約関係についても検討をしていく必要がある。

○学校開放施設

木祖小学校体育館・校庭

利用団体（学童野球・軽スポーツ同好会・すくすく倶楽部・バスケットボール教室・陸上教室）

木祖中学校体育館・校庭

利用団体（ジュニアフットサルクラブ・体協バドミントン部）

その他 合宿等

(4)スポーツ大会・教室等

スポーツ教室については、小中学生対象の教室を中心に開催した。また、健康づくりの一環として、一般村民向けへ健康づくりや身体づくりの教室を開催した。体育の日を中心に村民体育祭を開催した。

○村民体育祭

（開催日）

教委主催 ウォークラリー大会（雨天中止）・ソフトバレー大会（共催）・フットサル大会（共催）

各部主催 野球大会・少年剣道大会・ソフトテニス大会・射撃大会・弓道大会・バドミントン大会

ゲートボール大会・ゴルフ大会・卓球大会・マレットゴルフ大会

・その他の大会・教室は別途一覧参照

○村民登山

北アルプス「乗鞍岳」登山を実施。 開催日 9月14日（木） 19人が参加した。

5 文化財保護事業関係

（現状と評価）

文化財保護審議会の活動については、郡及び県の研修会への参加、村内文化財パトロールによる状態の確認を行った。その他平成28年度に刊行した村誌補遺の配布を行った。

文化財保護法の改正により文化財保護事務を教育委員会から首長部局に移管し自治体がまちづくりや観光といった他の政策分野との一体的な文化財行政をやりやすくできる法改正が行われたことから、今後の村づくりの状況も鑑みて検討をしていく必要がある。

（課題）

日本遺産認定により、文化財を活用した地域振興について様々な角度から観光産業との連携も進めていく必要がある。

郷土館等の文化財伝承施設や文化財の掘り起しについて、専門職員の配置がないことから文化財保護審議委員に頼る現状である。今後は学芸員の配置など後世につなげていく体制づくりを検討しなければならない。

(1)文化財保護審議会

審議会の開催（3回）のほか、視察研修、文化財パトロールなどを行った。

木祖村村誌補遺について、審議会委員が中心となり編纂業務を行っていただき本年度配布をすることができた。

月 日	内 容	場 所
平成29年5月18日	郡連絡協議会研修総会	上松町
平成29年6月5日	第1回文化財保護審議会	役 場
平成29年6月25日	第2回文化財保護審議会	村 内
平成29年11月9日	長野県文化財保護研修会	伊那市
平成30年2月20日	第3回文化財保護審議会	役 場

(2)木祖村郷土館

平成29年度の有料入場者数及び入場料は、右表のようであった。

一般	団体	小中学生	合計
300円	200円	100円	
217人	94人	13人	324人
65,100円	18,800円	1,300円	85,200円

6 放課後児童クラブ事業関係

(現状と評価)

ここ近年登録人数は横ばいであるが、平日の利用者延べ人数は平成28年度と比べると500人程増加となった。平日平均して10人以上の利用があったためである。反面多人数が利用していた学年が高学年になったが、高学年の利用は減少している。その一方、低学年の利用が多くなり、対応などに手がかかるため支援員は基本4名体制である。月1回木曾郡の各クラブと連絡会を開催し、情報など交換している。また支援員と月の行事や子どもへの対応などを協議している。

(課題)

小学校の余裕教室一室を利用し実施しているが、特別な配慮を要する児童への対応などで使用する場や参観日などで利用人数が増加した場合は一室では困難な面が生じているため、学校と相談のうえ、特別支援教室も使用している。

配慮を必要とする児童が増加しており、専門的な関わりが可能な支援員が必要であり、支援員の確保と研修の実施をしていく必要がある。

○ 放課後児童クラブ利用状況

1. 平成25～29年度登録児童数								2. 平成25～29年度開所日数					
年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	年度	登校日	長期休	振替休	土曜日	合計
25	16	18	5	13	4	1	57	25	208	29	4		241
26	18	14	16	3	11	3	65	26	207	29	4	11	251
27	8	17	13	16	3	10	67	27	207	29	4	11	251
28	12	7	15	7	7	1	49	28	205	31	4	11	251
29	8	14	10	7	7	2	48	29	204	32	4	11	251

年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	日数	18	21	19	17	8	18	21	20	19	16	19	12	208
	延人数	285	244	281	245	106	234	278	301	314	190	230	192	2,900
	平均人数	16	12	15	14	13	13	13	15	17	12	12	16	14
26	日数	18	20	20	17	9	19	20	18	19	16	19	12	207
	延人数	300	310	341	330	183	364	378	374	352	326	297	168	3,723
	平均人数	17	16	17	19	19	19	19	21	19	20	16	14	18
27	日数	19	18	21	17	9	18	20	19	18	14	20	14	207
	延人数	256	227	237	182	99	175	213	199	181	128	196	112	2,205
	平均人数	13	13	11	11	11	10	11	10	10	9	10	8	11
28	日数	18	18	21	17	7	19	19	20	18	16	20	12	205
	延人数	177	158	149	123	44	134	133	183	155	116	128	74	1,574
	平均人数	10	9	7	7	6	7	7	6	9	7	6	6	8
29	日数	18	20	21	16	6	19	20	20	18	16	19	11	204
	延人数	219	218	225	169	62	191	183	196	220	153	163	92	2,091
	平均人数	12	11	11	11	10	10	9	10	12	10	9	8	10

4. 平成25～29年度振替休業日数、児童数

年度	区分	3月	6月	7月	9月	10月	合計
25	日数		1	1	1	1	4
	延人数		13	3	4	9	29
	平均人数		13	3	4	9	7
26	日数		1	1	1	1	4
	延人数		9	3	12	13	37
	平均人数		9	3	12	13	9
27	日数		1	1	1	1	4
	延人数		2	3	3	1	9
	平均人数		2	3	3	1	2
28	日数	1	1	1	1	1	5
	延人数	3	1	3	3	6	16
	平均人数	3	1	3	3	6	3
29	日数	1	1	0	1	1	4
	延人数	9	8	0	6	8	31
	平均人数	9	8	閉所	6	8	8

5. 土曜日の利用状況

年度	27年度		28年度		29年度	
	開所日数	延人数	開所日数	延人数	開所日数	延人数
4	0	0	1	1		
5	1	1	1	1		
6	1	1	1	1	2	3
7	1	2	1	1	3	3
8	0	0	0	0		
9	2	2	1	1		
10	1	2	1	2	1	1
11	2	19	1	21	1	12
12	1	2	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1
2	1	2	1	2	1	1
3	0	0	1	1	1	1
合計	11	32	11	33	11	20

6. 平成25～29年度長期休業日数、児童数

年度	区分	1月	3月	4月	7月	8月	12月	合計
25	日数	3	8	3	4	11	0	29
	延人数	36	200	46	105	173	0	560
	平均人数	12	25	15	8	16	0	19
26	日数	3	10	3	4	9	0	29
	延人数	28	155	52	107	217	0	559
	平均人数	9	16	17	27	24	0	19
27	日数	4	8	2	4	10	1	29
	延人数	14	58	22	84	164	3	345
	平均人数	4	7	11	21	16	3	12
28	日数	3	9	2	2	14	1	31
	延人数	7	84	12	27	175	3	308
	平均人数	2	9	6	14	13	3	10
29	日数	3	9	2	3	13	2	32
	延人数	18	74	23	37	166	11	329
	平均人数	6	8	12	12	13	6	14

7 主要建設工事等

(1)施設整備・管理・修繕・備品購入

教員住宅は、2棟について水回りの老朽箇所の改修などを行った。教員住宅として将来の需要数の把握をしながら今後の改築については検討する必要がある。

小学校については、教室扉の開け閉めに支障が出ている箇所があり今年度1か所の改修を行ったが順次実施をしていく。また、電灯LED化も継続して実施しており、今年度は保健室、図書室、5・6年学習室、とちのき学級、職員室について実施した。学校図書館の椅子の老朽化により入替を行った。

中学校では、図書館屋根の雨漏改修工事をガルバリウム鋼板のカバー工法により行った。また、また職員室、家庭科調理室に窓を開放した時の虫等の侵入を防ぐため網戸の取り付け、玄関前の駐車スペースの確保のため根株の除去と舗装、職員室のLED化工事を実施した。

公民館わら原分館については、過去の白蟻被害と耐震化の改修、屋根の老朽化対策の工事を実施した。

給食センターは、以前より指摘されていた汚染作業区域と非汚染作業区域の分離について、既存玄関及び倉庫に検収室と下処理室を設ける工事を実施し非汚染作業区域を汚染しない対策をした。

支出科目	事業名	請負業者名	事業費
教育総務費	教員住宅12-1号修繕工事	小松建築	722,520
教育総務費	教員住宅中学校3号修繕工事	(有)ハラケン	491,400
小学校費	小学校LED化工事	青木電工	1,285,200
小学校費	小学校建具等修繕工事	木曾土建工業(株)	810,000
小学校費	図書館椅子購入	古屋商店	550,800
中学校費	中学校雨漏改修工事	西野建築	5,540,400
中学校費	中学校舗装改修工事	(有)牛丸建設	216,000
中学校費	中学校LED化工事	青木電工	321,840
中学校費	中学校網戸取り付け工事	(有)ハラケン	196,560
社会教育費	公民館わら原分館改修工事	森木建築	11,966,400
保健体育費	学校給食センター前処理室増設改修工事	木曾土建工業(株)	10,929,600

8 教育委員会関係委員名簿

○教育委員 4/1～9/30

職務代理	唐澤 達夫
委員	永島 芳晃
委員	笹川 美穂
委員	栗屋 佳洋
教育長	青木 信一

○教育委員 10/1～

職務代理	永島 芳晃
委員	川口 明
委員	笹川 美穂
委員	栗屋 佳洋
教育長	青木 信一

○学校評議員

出口今朝俊	連合自治会長
原 悦子	民生児童委員協議会長
柳川 浩司	学識経験者
青木 昭好	元PTA会長
松原 恵美子	現PTA代表

○文化財保護審議委員会

会長	柳川 浩司
副会長	松原 秀幸
委員	青木 正洋
委員	大藏 茂
委員	北川 聰
委員	久保島 賢一
委員	澤頭 修自
委員	湯川 喜義

○社会教育委員

委員長	勝野 次男
委員	青木 恭一
委員	久保田きよみ
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	松原 基代
委員	和田 宏

○公民館運営審議会

委員	青木 恭一
委員	久保田きよみ
委員	林 孝
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	松原 基代
委員	和田 宏

○公民館

本館	公民館長	勝野 次男
藪原分館	分館長(副公民館長)	内山 文彦
	副分館長	牛丸 昭
	主事	村井 千秋
小木曾分館	分館長(副公民館長)	奥原 史典
	副分館長	草刈 成雄
	主事	永瀬 健弘
菅分館	分館長(副公民館長)	木山澤 福夫
	主事	奥原 加志子
わら原分館	分館長	田上 利久
	主事	青木 求
吉田分館	分館長	中村 和徳
	主事	中村 隆浩

○スポーツ推進委員

西田 秀明
辺見 元孝
上野 あやみ
寺平 單
原 智恵

9 公民館・社会教育・社会体育関係事業一覧

○平成29年度 教育委員会・公民館学級講座（社会教育）

平成29年度 木祖村教育委員会・公民館学級講座開催台帳

社会教育編

講座名	区分	開催日	講師	対象者	参加人数	内容	参加費	会場	備考
家庭教育学級	家庭	6/18	辺見 元孝	とちのみ保育園保護者	60名	親子遊び		とちのみ保育園	講義 保育園共催
		8/29	奥谷 佳奈	とちのみ保育園保護者	50名	骨盤体操		とちのみ保育園	講義 保育園共催
ミニ講座	家庭	5/25	林 愛子	保育園入園前の子どもと保護者	14名	フラワーアレンジメント		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		6/26	島口今日子	保育園入園前の子どもと保護者	11名	ドライフラワー①		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		7/11	奥谷 佳奈	保育園入園前の子どもと保護者	17名	骨盤体操①		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		10/16	森下 静香	保育園入園前の子どもと保護者	6名	ヘアカット講座		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		11/20	島口今日子	保育園入園前の子どもと保護者	10名	ドライフラワー②		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		12/12	奥谷 佳奈	保育園入園前の子どもと保護者	12名	骨盤体操②		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		1/29	巢山絵里奈	保育園入園前の子どもと保護者	中止	アロマ講座		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
大人の学級	一般	4/26	青木 瑞穂	村内一般	16	開講式 ～歌って元気はつらる～		村民センター	講義・実技
		5/24	館長		16	県内遠足～諏訪大社見学～	2,440	諏訪	研修
		6/14	塚原 直幸		2	ボードゲーム講座		保険センター	講義
		7/13	館長		16	郡内遠足～木曾町の公民館～		南木曾町 上松町	講義
		9/29			4	中学生交流～中学校おおとり祭り～		中学校	研修
		10/11	原 悦子		14	料理教室①～秋の料理教室～		村民センター	交流
		11/10	林 愛子		10	物づくり体験①～秋のものづくり体験～		村民センター	交流
		11/24	原 悦子		4	料理教室②～冬の料理教室～		村民センター	交流
		12/8			7	平和・人権学習 ～戦争体験聞き取り集を読む～		中学校	講義
		12/15	林 愛子		11	物づくり体験②～クリスマスアート～		村民センター	交流
陶芸教室	趣味	5月～8月	高木 勇	村内一般	10	作品製作・絵付け・本焼き	3,000	小学校図工室	実技
大人の遊戯教室	趣味	5月～6月		村内一般	4	ボードゲームで楽しく脳トレ		保険センター	
英会話教室	趣味	5月～6月	ALT	村内一般	10	日常で使える英会話講座		笑ん館	実技、定員10名
IT講習会	教養	8月18.19	木曾ITSC	村内一般	5	エクセル講座		木祖村役場	実習
ブックスタート	家庭	10ヶ月検診時		乳児検診受診親子	20	ブックスタートバック等の配布		保健センター	住民福祉課共催
地域図書館講座	一般	8/21		村内一般	10	パーソナルカラー講座		木祖小学校	
	一般	10/22		村内一般	10	ラッピングギフト講座		木祖小学校図書館	

平成29年度 木祖村教育委員会・公民館学級講座等開催台帳

講座名	区分	開催日	講師	対象者	参加人数等	内容	参加費	会場	備考
すくすく倶楽部	体育他	4月～3月	辺見元孝	小学生	103名(登録数)	学校体育の延長としての運動教室及び体験事業等	500	小学校体育館他	別紙参照
シェイプアップ教室	健康	5月～7月	辺見元孝	村民一般	13名	効率の良い運動で脂肪の燃焼を目指す	1,500	社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
体力アップ教室	健康	9月～11月	辺見元孝	村民一般	9名	個人の能力に応じた運動により体力増進		社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
エアロビ教室	健康	5月～9月	平井峰子	村民一般	9名	エアロビクス		小学校体育館	10回開催 源流スポーツ大学
ヨガ教室	健康	5月～9月	武井有佳子	村民一般	14名	ストレッチヨガ		社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
社会体育館開放	健康	12月～3月		村民一般		冬季ウォーキング用に社会体育館開放		社会体育館	源流スポーツ大学
源流TC	体育	通年	教育委員会	小4～6年	33名	陸上大会及び体力アップをめざした練習		小学校校庭 小学校体育館	
第15回ソフトバレーリーグ戦(第1節)	体育	5月～7月		村民一般	10チーム	総当たり戦	1チーム 500	社会体育館	
第15回ソフトバレーリーグ戦(第2節)	体育	8月～11月		村民一般	10チーム	総当たり戦		社会体育館	
第15回ソフトバレーリーグ戦(冬季リーグ)	体育	1月～3月		村民一般	10チーム	総当たり戦		社会体育館	
村民体育祭ソフトバレー	体育	10月18日		村民一般	9チーム	2ブロックに分けて開催		社会体育館	
村民体育祭村民登山	体育	9月14日		村民一般	19名		500	北アルプス乗鞍岳	
村民体育祭ウォークラリー	体育他	10月15日		村民一般		雨天中止			
村民体育祭フットサル	体育	10月21日		村民一般		総当たり戦		社会体育館	
村民体育祭ゴルフ	体育	10月21日		村民一般	24名			木曽カントリー	
第59回木曾川源流村内一周駅伝大会	体育	11月3日		村民一般	一部 26チーム 二部 4チーム	村内一周を繋ぐ、伝統の駅伝大会		村内一円	小木曾南10連覇

○平成29年度 教育委員会・公民館学級講座(すくすく倶楽部)

すく～る・スキー

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリダー	保護者
1	4月29日(土)	すく～る(全学年)①	小学校体育館	スポーツテストに向けた内容	42	1	0
2	5月13日(土)	すく～る(全学年)②	小学校体育館	スポーツテストに向けた内容	28	1	0
3	6月10日(土)	すく～る(全学年)③	小学校体育館	スポーツテストに向けた内容	28	0	0
4	6月24日(土)	すく～る(全学年)④	小学校体育館	スポーツテストに向けた内容	23	0	0
5	7月15日(土)	すく～る(全学年)⑤	小学校プール	プール	43	1	0
6	8月12日(土)	すく～る(全学年)⑥	小学校プール	プール	10	0	0
7	8月19日(土)	すく～る(全学年)⑦	小学校プール	プール	16	0	0
8	9月2日(土)	すく～る(全学年)⑧	小学校体育館	運動会前の走りのコツなど	17	0	0
9	9月9日(土)	すく～る(全学年)⑨	小学校体育館	運動会前の走りのコツなど	19	0	0
10	10月7日(土)	すく～る(全学年)⑩	小学校体育館	器械体操ほか	17	0	0
11	10月14日(土)	すく～る(全学年)⑪	小学校体育館	器械体操ほか	16	0	0
12	10月21日(土)	すく～る(全学年)⑫	小学校体育館	器械体操ほか	17	0	0
13	11月4日(土)	すく～る(全学年)⑬	小学校体育館	最終日:すくすく版サスケを予定!	17	0	0
15	1月13日(土)	スキー教室 (低学年)	やぶからは高原スキー場	レベル別に別れて、スキー教室をします。	20	1	0
16	1月20日(土)				26	0	0
17	1月27日(土)				19	0	0
18	2月3日(土)				25	1	0

物づくり体験

383 5 0

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリダー	保護者
1	6月4日(日)	絵画教室 低学年 (イベント実行委員会共催)	笑ん館	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しよう!	23	1	6
2	6月11日(日)	絵画教室 高学年 (イベント実行委員会共催)	笑ん館	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しよう!	23	0	1
3	6月18日(日)	木工体験	村民センター	木工体験を楽しもう!	36	2	6
4	7月2日(日)	サンドブラスト体験 (午前低学年・午後高学年)	村民センター	人気講座!ガラス等にオリジナルの模様を付けます!	67	3	22
5	11月18日(土)	クッキング① (2・4・6年生対象)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦	17	0	6
6	11月25日(土)	クッキング② (1・3・5年生対象)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦	27	2	21
7	2月24日(土)	閉講式&ケーキづくり	村民センター	閉講式&ケーキのデコレーションと試食!ピンゴ大会もあるよ!	62	2	

野外活動・体験

255 10 62

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリダー	保護者
1	4月22日(土)	開講式・レクリエーションゲーム	社会体育館	開講式と、レクリエーションゲームを行ないます。	53	7	0
2	4月30日(日)	バスケットボール教室	小学校体育館	バスケットボールをやってみよう!	17	0	6
3	5月14日(日)	弓道体験	社会体育館 弓道場	日本の伝統的な武道 弓道を体験してみよう!	26	1	10
4	5月27日(土)	ウォークラリー	荻原地区を予定	クイズに答えながら散策しよう!	40	0	15
5	6月3日(土)	釣り教室	こだまの森	こだまの森の渓流釣り場で釣り体験をやってみよう!	42	1	29
6	7月17日(月)	木曾川源探険(PTA共催) (高学年対象)	木曾川源流の碑 (鉢盛山登山道 入口)	源流の碑を見ながら、河原で魚の観察などをします。	19	1	3
7	7月22日(土)	川遊び(PTA共催)	木曾川	木曾川でゴムチューブに乗ったり川遊びをしよう!	47	0	23
8	7月27日~28日	キャンプ(高学年対象)	こだまの森	こだまの森でキャンプを楽しみます(高学年対象)	35	6	0
9	8月6日(日)	カヌー体験(PTA共催)	奥木曾湖	奥木曾湖でカヌーに乗ります。水遊びも可能!	61	1	33
10	8月20日(日)	ニュースポーツ体験 (高学年対象)	社会体育館	ニュースポーツを楽しもう!!	18	0	2
11	10月9日(月)	ハイキング	鳥居峠	鳥居峠越えハイキングを楽しもう!!	雨天により中止		

合計35回開催(1回中止) 358 17 121
996 32 183